



景気回復の実感を浸透させるよう 切れ目のない確実な行政運営を



公明党議員団
大野 哲也 議員

3月6日 一問一答方式により質問

- 1 平成26年度予算案について
 - (1) 国の政策と本市への影響
 - (2) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金
 - (3) 高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画
- 2 教育行政について
 - (1) 教育長の基本姿勢
 - (2) 小学校学力アップ推進事業
 - (3) いじめ・不登校防止子どもプロジェクト推進事業
- 3 絵本を活用したまちづくりについて
 - (1) 絵本の読み聞かせ運動
 - (2) ブックスタート事業
- 4 三川坑跡及び周辺施設の保存・活用について

平成26年度予算案について

国の政策と本市への影響

問 地域経済の景気回復への市長の現状認識を聞きたい。

答 全国的な経済指標は軒並み好転を示しており、少しずつではあるが、回復の基調が見られる。

今後も地域経済の活性化につながるよう、国の経済対策に即応し、適切な対応を図りたい。

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

問 両制度の取り組みの進捗状況について聞きたい。

答 適切な事務遂行のため、臨時福祉給付金対策室を設置する等、関係課の連携・協力体制を構築しながら取り組みを進めている。今後も、関係課との連携・協力のもと、遺漏なく給付事務に取り組む。

教育行政について

教育長の基本姿勢

問 教育長としての今後の取り組みに対する抱負と決意を聞きたい。

答 本市が進めてきた全国の先駆的な役割も果たしている小学校における外国語教育やユネスコスクールとしての持続発展教育、また、子ども大牟田検定などをさらに推

進することが重要。この特色ある教育を全国に発信することで子どもや保護者が大牟田を誇りに思い、自信を持つようにしたい。

小学校学力アップ推進事業

問 同事業の目的と内容及び事業実施後の効果について聞きたい。

答 本事業は、新規に取り組むもので、小学校1年生から4年生までの児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成を図ることを目的としている。

効果としては、日常の学びの延長での学習が可能となり、深い理解や活用する力の育成にあわせ、学ぶことの楽しさや学び合うことの楽しさを感じ、学習意欲の向上にもつながると考える。

いじめ・不登校防止子どもプロジェクト推進事業

問 同事業の目的と内容及び事業実施後の効果について聞きたい。

答 児童生徒が自ら、日常的にいじめ・不登校の問題を考えたり、自分たちで仲間づくりを推進することを目的としている。

効果としては、いじめを許さない、いじめのない学校づくりや、笑顔で登校する学校づくりに関する児童生徒の考えを深めることができるものと考えている。

絵本を活用したまちづくりについて

ブックスタート事業

問 ブックスタート運動に対する市の見解を聞きたい。

答 本市では、子ども読書推進計画に基づき各種の取り組みを進めており、その一環としてブックスタート事業に類似した事業として、ブックデビュー事業を行っている。

絵本を仲立ちとして赤ちゃんや保護者が温かいひとときを持つきっかけとして有効な事業であると認識をしている。全ての赤ちゃんに絵本を配布するブックスタート事業については検討したい。



問 絵本リストの配布について市長の考えを聞きたい。

答 ブックスタートも含め必要と思うので、やるという前提で、全員に渡す方法など予算の中でどうしていくのか検討したい。

三川坑跡及び周辺施設の保存・活用について

問 今後の予定について聞きたい。

答 答申を受けた基本構想案をもとに、基本構想を決定して、その後、基本計画を策定する予定。